

## 北九州テクノサポー

北部九州・山口地域の産業発展に貢献する



#### NPO法人 北九州テクノサポ・

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号 TEL:093-873-1453 FAX:093-873-1453 E-Mail:info@npo-kts.org URL:http://www.npo-kts.org/

2022年 夏号

#### 会長就任のご挨拶

影山 降雄



NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、今年で法人化19 年目を迎えますが、これまで国や県、北九州市を はじめ関係 機関のご支援をいただき、会員の活動で様々な事業を進めて 参りました。

KTSは、経験豊かで豊富な知識・技術を備えたシニア世代を 社会の貴重な人材・人的資源として捉えその活力をもって、微

力ですが、まちづくりの根幹に関する事業を行い、北九州及び山口地区の活 力あるまちづくりに寄与する活動を行っています。主な活動は、環境省/エコア クション21(EA21)中核事務局「環境未来」として登録企業330社の環境経営 システムに関する認証・登録・普及活動をはじめ、地域の理工系大学や高専 の学生の地元企業様への就職率向上に大きな役割を果たしている北九州地 域産業人材育成フォーラムの地域連携型インターンシップ・コーディネート業 務、そして(公財)北九州観光コンベンション協会から受託しているビジネス マッチング(BM)支援業務があります。このBM支援事業は、会員の技術的知識 と人脈により地元企業様に展示会出展企業の事前PRを行い、会期中の商談 をきめ細かくサポートするものです。

その他、年2回の広報誌発行やよろず相談による地元企業様へのトータル 支援活動、そして激しく変化する経営環境や新技術に対応するため会員自身 の学び直しの場の提供などの自主事業を行っています。

しかし、2022年6月末のKTS会員は70名余に上りますが、構成する人はさま ざまで、関わりの程度も思いの強さも違う人たちと1つの活動を行なう難しさが あるため、これまで事業への会員の参加が半数程度の方々へ限られて来たと 言う永年の課題があります。

先日、法人設立当時から多くの事業に参加されて来た85歳を超える会員の 方が、「KTSは自分の第2の人生を意義のある豊かなものにしてくれた」と述べ ていましたが、我々の活動は、地域貢献と言う面だけでなく、会員の生き甲斐 への関わりと言う側面も大切にする必要があります。そのため、多くの会員 が、地域課題の解決に向けた活動に参加して多様な専門性や経験が活かさ れる新たな自主事業の企画・創出を目指すと共に参加促進を図ります。これに より、地域の課題に対する当事者としての意識を会員の間に広げると共に課 題へのアンテナ感度を高めることが、一層の地域貢献につながり、KTSに活力 をもたらすことができると考えますので、ご協力をお願い申し上げます。

## Topics 1. 2022年度 北九州テクノサポー

2022年度総会(第20回通常総会)が6月16日(木)に開催された。本総会はコロナ対応として御来賓参加等を 仰がず正会員・賛助会員及び協賛会員のみのオンライン会議へのリモート参加形式で実施された。開始に先立ち、事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、指名された議長(吉田会長)により議事が進めら れ、会長挨拶並びに次の3議案(含む、収支決算及びその監査報告並びに収支予算案)の報告がなされ、正 会員による採決(予めのe-メールでの議決権行使を含む。)が行われ、3議案とも了承・可決された。

なお、総会に引き続く「特別講演」は会員に加え各界からのご参加を得て同じくオンラインで実施された。

#### ◇ 2021年度事業報告(事業総括) ◇

2021年度は、東京オリンピックの開催に伴って8~9 月に新型コロナの急激な拡大により緊急事態宣言 や重点措置の発出を見ましたが、10月に入ってワ チン接種の拡大に伴って感染者数が減少したもの の、1月以降新たな変異型の出現によって急増し、まん延防止等重点措置の適用によって社会・経済活 動が制限される事態が繰り返された。政治面では、 本年2月24日のロシアのウクライナ侵攻が始まり、その影響は世界規模のエネルギー供給の混乱や経済 制裁による物価の高騰など、世界経済に大きなダ -ジを与える事態になった。また、コロナ禍でリ モートワーク等が増え、半導体部品の生産が需要に 追い付かない状況が起こり、これら製品の納期が大 幅に遅れ経済活動に支障となった。国や地方自治体 では、コロナ禍の長期化により企業の倒産や廃業を 防ぐため、資金繰り支援や雇用調整助成金の拡充、支 援金等の給付が進められた。

当法人の2021年度の活動を振り返ってみると、 EA21の地域事務局「環境未来」は地道な活動を進め ているが、実施企業は減少傾向にあり、根本的な課 題を抱えている。他の活動は、昨年に続きコロナ禍 で活動も停滞気味で、活動は制約を受け続けて、イ ンターンシップ受入企業の登録は、前年度比で若干 の落ち込みになった。ビジネスマッチング事業は、6 月30日~7月2日に製造技術イノベーション展と中小 企業テクノフェアが同時開催され、コロナ禍で入場者 数はコロナ前の1/3に減少した。NPO法人北九州テ クノサポート(KTS)はこれら悪条件の中で、ベテラン の引退など課題山積であったが、何とか力を合せて 対応した。企業訪問もコロナ禍では難しかったが、 KTS全体としての力を高める活動が進んだ。KTSは、 多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT活用 支援グループが整備したオンライン会議ツール Teamsなどを駆使しながら、北九州市が推進する SDGsの勉強会やKTSの会員相互情報交換会等で 新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振 興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活 動を展開した。

#### ➡ (主な活動及び各支援Gr活動報告は2ページ以降に掲載)

#### ◇ 2022年度事業計画(基本方針) ◇

2022年度は、度重なる変異ウイルスの発生が今後 も続くと予想され、様々な形で社会・経済活動を制約 することが懸念されている。また、今年2月に始まった ロシアによるウクライナへの侵攻は、長期化が予想さ その影響によるエネルギー・穀物価格高騰や金利 政策による円安で輸入品価格高騰に半導体部品の供 総不足などの悪化要因も重なり、国内経済の変動要因が大きい。中小企業には、この変化する環境を乗り切り、新しい事業へチャレンジするデジタルトランス フォーメーション(DX)への取組みが求められる。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、 昨年初めからMicrosoft 365 Businessを活用しながら情報共有を進めると共に、リモートワークを実施してお り、本年度もこうした環境を活かした取り組みを進め また、受託事業については、①ビジネスマッチング を支援している展示会は、製造技術イノベーション展 と中小企業テクノフェアにDX推進フェアを加えた「課題 解決EXPO2022」が7月上旬に同時開催される予定で あり、コーディネーターのDX研修を含めて準備を進めている。②インターンシップのコーディネート事業は、 厳しい状況の中でコーディネーターを増やして受入企業の登録を進めている。③エコアクション21地域事務 は、支援を必要とする企業をこまめに探し、その課題 解決にグループ横断で協力して対応し、その企業の成長を支援し、地域の一層の発展に貢献することを目 指す。年々厳しくなる社会経済情勢に対応すべく、会 員の技術力やその知識を結集して企業の技術問題や 生産活動の合理化・エコな生産に関わる支援などの 実務的課題解決を進める。組織的には高齢化が進ん でおり、企業OBなど豊富な経験・知識・人脈を持ち活 動意欲のある人材を仲間に呼び込み、その力を活か し地域の他の活動組織と連携や協業を進め、実働部 隊・つなぎ役として地域産業を下支えする活動を促進 する計画である。

→ (実施計画は6ページに記載)



#### Webツールを活用したオンライン総会

#### ◇役員改選◇

定款に則った任期満了に伴う役員改選を行い、 理事候補計11名(再任10名、新任1名)、 監事 候補2名(新任)並びに退任理事2名、退任監事 2名が紹介され、了承・可決された。

#### <<役員紹介>>

2021年7月度理事会(7/1開催)において会長以下三役、 並びに各支援グループ(Gr.)長が定款に則り、選出された。

影山 降雄

副会長 吉田 剛、古谷 長蔵

事務局長 徳永 昌哉

理事(注) 関屋 建三、手島 邦彦(\*)、西 哲郎、 林 慶三郎、正木 秀尚、松本 昭喜、 渡邊 朝子

(注)・三役(会長・副会長・事務局長)理事は 理事欄から省略

・理事欄の(\*)は新任、その他は再任

駐車 小林 敏郎、藤原 利久(いずれも新任)

#### 各支援Gr.長

・技術経営ものづくり支援Gr. 吉田 剛 · 産学官連携人材育成支援Gr. 影山 隆雄 環境・省エネ支援Gr. 吉田 剛 •ISO•EA21支援Gr. 古谷 長蔵 ·IT活用支援Gr. 正木 秀尚 ・販路開拓ビジネス支援Gr. 影山 隆雄 広報・デザイン支援Gr. 林 慶三郎

エコアクション21地域事務局 環境未来責任者

西 哲郎

#### 福岡県 商工部 中小企業技術振興課からKTSへの期待 Topics 2.

## 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 吉海 和正



貴法人におかれましては、国内有数のものづくり拠点であ る北九州地域を中心に、技術開発や産学連携など様々な支 援を通じて、本県ものづくり産業の振興に御尽力いただいて おります。

北九州テクノサポート会員の皆様の熱心な活動に心から 敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済が急 激かつ大きく変化する中、ものづくり中小企業においても、デジタル技術の積 極的な活用が求められています。

県では、デジタル化を担う人材を育成するため、昨年11月に一般社団法人 九州経済連合会や九州大学等と設立した「九州DX推進コンソーシアム」によ り、本県の産業の特性、ニーズに合わせた実践的な人材育成プログラムを構 築し、中小企業のデジタル化、更にはその先のDXを推進できる人材を育成し てまいります。

また、福岡県中小企業生産性向上支援センターでは、経験豊富なアドバイ ザーを企業に派遣し、現場の実態や体力に応じた業務プロセスの改善からシ ステムの導入まで一貫した支援を行っているところですが、本年4月からは、 新たに「デジタル支援ユニット」を設置し、中小企業のデジタル化支援を強化し ています。

さらに、最近の原油価格高騰等に対応するため、工業技術センターに燃焼 性評価システムなどの機器を導入し、燃料費等の削減につながる中小企業の 製品開発を支援してまいります。

県としましては、引き続き、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材の育 成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、厳しい状況を打 開できる多様で活力あるものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。

終わりに、貴法人のさらなる御発展と、会員企業の皆様の御健勝と御活躍 を心から祈念いたします。

### 2021年度事業報告

#### 2021年度の主な活動

NPO法人北九州テクノサポートのご関係先との連携の下、7つの支援グ ループ(Gr.)の個別又はGr.間の協働並びにEA21地域事務局活動を行った。

活動項目	関係先
北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ 支援活動)	北九州地域産業人材育成 フォーラム (公財)北九州活性化協議会
中小企業テクノフェアin九州2021 販路開拓事業	(公財) 北九州観光コンベンション協会
北九州商工会議所アドバイザー 活動の推進	北九州商工会議所
製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、FAIS、大学·高専、 賛助会員、協賛会員
「第4次産業革命」勉強会 5回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市 関係者他
「SDGs勉強会」3回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市 関係者他
エコアクション21 認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 中央事務局
会員相互情報交換会 (オンライン) 1回	NPO-KTS会員、地元企業
新型コロナ感染防止のための テレワーク推進	NPO-KTS会員、関係先
よろず相談5件	地域の中小企業

### 2021年度各支援グループ活動実績

#### ◇ 技術経営ものづくり支援Gr. ◇

#### 1. 技術支援活動

- 1) 企業課題の解決に向けた大学・高専の産学連携活用促進
- ・K製作所から技術相談があり、大学連携を模索したが、成果に至らなかった。
- 2) KTSの活動組織(受託事業)と連携した企業課題探索とKTS会員保有技術とのマッチ ング促進
- ・N社の工場設備や製造技術の課題を取り上げ、改善への取り組み方をアドバイスした。 ・EA21審査人との連携・協力について、現場課題を聞く場を設けるまでには至らなかった。

#### 3) よろず相談への対応

- ・EA21実施企業から市・下水処理場とのコンタクト要請があり、北九州市関係者と面談の 場を設けることができ、感謝された。
- ・K社より古民家再生の補助金申請で応援要請を受け対応したが、結果に結びつかな かった。
- ・会員からの紹介により、K製作所の廃棄物処理技術の課題を調査した。
- ・技術士会からの依頼により、P社の技術調査を実施した。
- ・技術士会からの依頼により、機械設備施工管理者の資格を持つ会員を募り、調査実施中。

#### 2. 対外的なKTS人材の技術情報整備とPR

- ・KTS情報交換会は、10月8日Zoomによるオンライン会議で実施し、参加者9名であった。
- ・技術データベース作成は、次年度に持ち越した。

#### 3. 補助金等を活用した技術力向上への支援

- ・北九州市技術開発振興助成金:2社の技術調査への協力を行い、2社ともに採択された。 採択後の支援を実施した。
- ·ものづくり補助金の申請書作成支援: 北九州商工会議所の紹介でS社の補助金申請を 支援し、採択された。
- ・ものづくり補助金採択後の支援:KT社のロボット導入後、メンテナンス技術について 専門家への相談及び課題解決へのアドバイスを行い、報告書作成までフォローした。

#### 4. 公的機関からの受託事業開拓

・公的機関に新規提案等を行い、新事業開拓を目指したが、具体的進展はできなかった。

#### ◇ 産学官連携人材育成支援Gr. ◇

#### 1. 北九州地域連携型インターンシップに関する事業

#### 1)研修型(短期)インターンシップに関する事業

2021年度は、新型コロナ禍が続く状況ではあるが、地域のものづくり企業200社に対し て KTSのコーディネーター12名が手分けしてITツールTeamsによるオンライン打合せを 駆使し、受入れ登録企業100社を目指したが、新型コロナ禍の影響で59社の登録に留 まった。併せて、北九州市立大学国際環境工学部1・2年生と女子高校生のインター シップ受入企業の誘致を行った。

2) 実践型(長期)インターンシップに関する事業 2021年度は、地域のものづくり企業200社に対してKTSのコーディネーター12名が手分 けして受入れ登録企業20社を目指したが、新型コロナ禍の影響で6社の登録に留まった。

#### 3)北九州高専長期インターンシップに関する事業

2021年度は、15社紹介の計画であったが、北九州高専が新型コロナ禍の影響で対象 を情報システム系の学生に絞り、オンライン研修可能な企業に限ったため、3社の紹介 に留った。 (次ページに続く)

## の広報コーナー(No.1~2)



# 大光炉枚株式会社

北九州市戸畑区牧山新町1-1 TEL: 093-871-1631 FAX: 093-883-2151







総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、 安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。

ISO 13485 認証取得 MS

義肢/装具/重いす/福祉用具/リハビリ機器

株式会社有薗製作所 代表取締役 有菌 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5 TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670 URL http://www.arizono.co.jp



## 北九州市 産業経済局からKTSへの期待

## 北九州市 産業経済局 局長 北里 勝利



NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃 より技術・知識・経験を活かした地域企業への技術支援はも とより、企業間のビジネスマッチングによる販路開拓支援な ど、本市の産業振興に大いに貢献いただいております。この 場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、一昨年から2年以上にわたり、新型コロナとの厳しい 戦いが続いておりますが、一方で、アフター・コロナを見据えた取組みを開始する時でもございます。

本市では、ビジネスも、暮らしも、子育ても、「あたらしいことを、はじめやす い都市」を広く認知してもらうため、新たな都市ブランド「New U」を昨年立ち 上げ、移住促進や関係人口の創出、企業誘致などを推進してまいりました。

本市産業経済局においても、社会・経済状況の変化をしっかりとらえ、市内 企業への年間を通じた訪問相談や、事業再構築の取組み支援、DX化に対す

る支援など、市内企業の皆様に寄り添った経済対策支援を実施してまいります。

また、本年3月には「日本新三大夜景都市」に全国1位で再認定され、4月 には「ジアウトレット北九州」や新科学館「スペースLABO」が開業するなど、本 市の魅力発信や地域活性化の取組みは着実に進んでおります。

さらに、洋上風力発電関連産業の総合拠点化や北九州空港を活かした物 流拠点の形成など、戦略的なプロジェクトも推進してまいります。

今後も、ゼロカーボン達成に向けた取組みやDXの推進など、「SDGsのトッ プランナー」を目指すことで、「日本ー住みよいまち・北九州市」を実現し、地域 経済の発展と活性化に繋げていくために、引き続き貴法人のご理解とご協力 をお願い申し上げます。

結びに、北九州テクノサポートの今後のますますのご発展と、会員の皆様の ご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。

## 2021年度各支援グループ活動実績

#### 2. <u>サポイン事業評価業務</u>

2021年度の九州経済産業局(九経局)サポイン事業の中間評価と最終評価業務は、2名 のKTS会員が従事した。

#### 3.「SDGs勉強会」の開催

会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を6月、8月、10月と3回オンライン開催した。

#### 4. 本の出版

会員の井ノ口章二氏が、技術士の堀田源治様及び有明工業高等専門学校准教授岩本 先生、九州工業大学教授鶴田先生と共に『現場で使える「力学の教科書」』を執筆して、 (株)日本能率協会マネジメントセンターから出版した。

#### ◇ 環境・省エネ支援Gr. ◇

#### 1. 販売支援活動

他の法人(J-SCORE)と協力関係を作り省エネ商品等の販売等への協力を会員に呼 び掛け、4月に遮熱・断熱・結露抑制の機能がある塗料の紹介を受け、PRを行った。 2) 森林の厄介者となっている竹から竹粉を製造し乳酸発酵させることで、土壌改良の効 能が高まり植物の生育に良い効果を与えることから、前年度から竹粉活用を進めてい る。本年は合馬地区で竹粉を製造開始したF社を訪問し、今後の竹粉ビジネスの展開に ついて議論した。

#### 2. 環境技術に関心のあるKTS人材の育成と教育

体制づくりは進展せず、次年度持ち越しとなった。

#### 3. 補助金等を活用した技術力向上への支援

各種補助金を活用した企業の経営力向上に向けた支援は、今期は成果がなかった。

#### 4. 公的機関からの受託事業開拓

- 1) 九州地域における産業公害防止に資する課題解決型ビジネス創出及び資源循環シ ステム構築に係る調査委員の要請があり、3回開催された会議に出席した
- 2) エコプレミアム選定委員会への出席:5社の申請があり、選定委員として参画した。
- 3) 未利用熱エネルギー利活用は、成果に結び付くものはなかった。

#### .◇ ISO-EA21 支援Gr. ◇

#### 1. 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化

理事会、EA21の活動及びEA21勉強会(主催:地域事務局環境未来)において、KTSの各 支援Gr.の活動とEA21審査員との連携を深めることにより、EA21認証取得事業者の経営 改善の支援に務めた

#### 2. EA21認証取得事業者数の拡大

末の319件に比べて2021年度末の登録件数は315件と減少する結果になった。

3. ISO/認証維持・新規取得支援 ISO、EA21の認証取得及び維持を主とした事業者の支援とともに、CO<sub>2</sub>排出量の削減を 目指した活動を支援した。『省エネ診断士』の育成にも注力し、会員の1名が取得した。

#### 4. グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング技術の向上)

新型コロナウイルス感染予防のため、実施を見送った。

## 5.「エコア<u>クション21だより」の発刊</u>

#### ◇ IT活用支援Gr. ◇

#### 1. NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立

KTS会員の中からホームページ制作の専門家と広報・デザイン支援 Gr.の協力を得て ホームページの維持管理を実施した。

#### 2. <u>中小企業のIT活用支援</u>

広報・デザイン支援Gr.の協力を得てPR用のパネルやKTS通信誌に記事を掲載したが、 引き合いに結びつかなかった。

#### 3. 「第4次産業革命」勉強会の開催

1) 7月、9月、11月、12月、1月の5回勉強会をオンライン開催し、後半、2022年7月開催予 定の「課題解決EXPO2022 DXフェア」に向けたビジネスマッチングコーディネーター研修 を実施した。

2) (公財)北九州国際技術協力協会からの要請で、東南アジア諸国向けの英文資料 Impact of the Fourth Industrial Revolutions in Japanをこれまでの勉強会資料により作成した。

#### 4. テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援

1) テレワーク環境整備に導入したITツールの展開

EA21中央事務局のペーパーレス化導入に向けて、NPO-KTS内部のMS365Bizのクラウ ド機能などのITツールをEA21審査員と登録中小企業の業務効率化に繋げた。

2) MS365BizのPower AutomateとPythonプログラミングによる業務自動化 2021年度は、Pythonプログラミングとその人工知能処理への応用の学習に留まった。

#### ◇ 販路開拓ビジネス支援Gr. ◇

## 1. 西日本製造技術イノペーション2021展示会中小企業対象のビジネスマッチング(BM)

来場企業数90社、商談件数21件、成約・見積依頼件数5件(合計56.5百万円)の成果を得た。

2. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業 1)約40名のKTS会員を登録し、北九州商工会議所の会員企業との特許の申請、各種補助金の申請、技術指導、EA21登録等の支援を行った。

2)苅田・行橋・下関の商工会議所等との様々な協働は、実現に至らなかった。

#### ◇ 広報・デザイン支援Gr. ◇

1. <u>KTS広報事業</u> 1)KTS通信発行: Vol.37(2021年夏号)通常総会特集号を2021年7月に、Vol.38 (2022年冬 号)新年特集号を2022年1月にそれぞれ2000部発行し、冊子配布及びPDF配信した。 2)KTS通信(Vol.37,38号)を媒体として会員企業(賛助・協賛会員)の広報支援を行った。 3)KTS事業紹介パネル更新(製造技術イノベーション・中小企業テクノフェア用)を行った。 4)KTSガイダンス及び事業紹介パンフレット類更新は次年度送りとなった。 5)IT活用支援Grとの協働によりKTSホームページの更新を行った。 6)正会員へはKTS内部及び外部情報を選択して計34件の情報を提供し、会員企業(賛助

会員・協賛会員)へは外部情報を選択し計16件の情報を提供した。

2. 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援 1) KTS通信掲載の広告デザイン支援は、計7件実施した。 2)中小企業の広報誌編集や広告などのデザイン有償支援は実績無しであった。

3. KTS創立20周年配念誌発行 1)創立20周年(2023年)記念事業は実施(推進窓口=事務局)、記念誌編集担当=広報・デ ザイン支援Gr.長と決定したが、年度目標の基礎情報収集・整理は十分ではなかった。

#### 会員の広報コーナー(No.3~4) NP0-KTS法人

限りある資源を未来に 地球環境に貢献



## 【╣】株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都郡苅田町港町8-11 TEL: 093-436-6136 FAX: 093-436-6141 http://www.kosei-japan.com







## Topics 4.

## (公財)北九州産業学術推進機構からKTSへの期待

## (公財)北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央



特定非営利活動法人北九州テクノサポートの皆様にお かれましては、設立以来、地域企業の支援や産学連携の ーディネート活動などに幅広く活躍され、北九州地域の産 業振興に大いに貢献されておられることに心より敬意を表 します。

また、平素より私ども、公益財団法人北九州産業学術推 進機構(FAIS)の事業に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお 礼申し上げます。

- 昨年来の新型コロナウイルス感染症のまん延により、会員のみなさ まの企業活動においても、大変なご苦労があったのではないかと推察いたし ます。

ここへきてようやく社会経済活動も通常の動きに戻りつつあることは明るい 兆しだと思いますが、一方で極端な円安や原材料の値上がり、安定を欠く国際 情勢などにより、収益の確保にご苦労されている方も多いのではないでしょうか。

またこの機会に、自らの事業の再構築や改善による生産性の向上、事業継続 力の強化など、企業活動の新たな取り組みを模索されていらっしゃる方も多い

設立20周年を迎えた私どもFAISは、このような新たな取り組みに挑戦する 企業を全力で支援いたします。

これまでも北九州市学術研究都市を中心に、地域に集積する大学・研究機 関と産業界の橋渡し役として、また中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援 機関として活動してきましたが、とりわけ今年度は、事業の再構築や既存事業 における生産性の向上に欠かせないロボットやDXの導入を検討されている企 業に対し、強い使命感を持ってご支援をしたいと考えています。つきましては、 北九州テクノサポートの皆様にも、豊富な経験や技術、専門知識を生かして、 私どもの活動に一層のお力添えをお願いいたします。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様のさらなるご活躍と、ご発展 を心よりお祈り申し上げます。

#### 2021年度各支援グル-プ活動実績

#### エコアクション21地域事務局環境未来 2021年度活動実績

#### 1.エコアクション21(EA21)導入セミナー開催

福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口県関係企業グリーン化プロ グラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表 を実施した

#### 2.自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム開催

認証登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、 集合講座を開催した。

#### 3.認証・登録業務推進

登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、 地域普及戦略会議を開催した。

4.認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催

認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催した。

#### 5.エコアクション21審査員の力量向上研修会開催

広島県、山口県、福岡県、大分県、佐賀県のEA21審査員を対象に、「力量向上研修 会」を開催した。

#### 6.永年継続認証・登録事業者に感謝状授与

永年エコアクション21に取り組んでこられた82事業者に対し、中央事務局からの感謝 状を授与した

#### 7.北九州市長感謝状授与制度の対象事業者 の選考・上申

北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の 取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授 与候補として選考のうえ、上申し、(株)ダイコウ技建、 (株)緒方組及び(株)村上精機工作所の3社が感謝 状を授与された。



KTS情報交換会・勉強会のご案内

会員以外の方も奮ってご参加下さい!! (e-mail info@kitagts.org TEL093-873-1453)

#### ★KTS情報交換会★

会員・新入会員の連携活動促進を目的として、第11回会合(オンライン)を5/12 に開催し、12名の参加があった。新人の自己紹介を受けいずれも今後のKTS 事業開拓に有力な方々と再認識した。後半の部ではKTS各支援グループ活動 として公的機関受託、インターンシップ、ビジネスマッチング、EA21地域事務局 活動等々の紹介があり、積極的な参加を要請された。最後に参加者の有意義 なコメントをいただき、今後のKTS活動の更なる活発化を願って閉会した。

#### ★第4次産業革命勉強会★

この勉強会では、2年前から、未来IT図鑑シリーズの「これからのDX」内 山悟志著、エムディエヌコーポレーション発行をテキストとしてDXの多面 性についてオンライン形式の輪講を行っています。まん延防止等重点措 置が解除され、福岡県機械電子研究所において5月24日、中小企業にお けるDXによる生産性向上のツールとして同所が開発しているIoT導入キッ トの使用方法や製作に関する勉強会を会員10名が参加して実施しました。



No.26 勉強会(5/24) (於 機電研/八幡西区)

## NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.5~8)



## 北九州最大の展示会でビジネスチャンス!!

西日本製造技術 イノベーション

中小企業テワノ 717 in /LM

西日本製造

検索

中小企業テクノ

検索



**総 北九州観光コンベンション協会** 

がっちりガードして、耐風力・防犯力・操作性・耐久力が大幅アッフ



## 安全・安心、シャッター設置・修理 有限会社 やまもと

〒805-0050 北九州市八幡東区春の町3丁目1-9 TEL 093-681-6360 FAX 093-681-6818 フリーダイヤル O12O-117-914(市内) URL http://www.s-yamamoto.jp

私たちカンノ製作所の使命は「製品を通じて世の中のものを"つなぐ"」こと。 場所と場所をつなぐ。装置と装置をつなぐ。人と人をつなぐ。 装置と人をつなぐ。アナログとデジタルをつなぐ。音をつなぐ。

つなぐ技術を駆使して世の中の安心・安全に貢献すること。 私たちは「つなぐ」技術のリーディングカンパニーを目指して、 通信の革新に挑戦し続けます。





http://kanno.co.jp 創業90年

[本社] 〒802-0022 北九州市小倉北区上富野 1-5-25 TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470



4 北九州テクノサポート通信 Vol.39

## オンライン 特 別 講 演



## 演題:「北九州空港の展望 ~地域に貢献する空港であるために~」

#### たけなみ

#### 講演者: 北九州エアターミナル株式会社 代表取締役専務 武濤 研二郎 様

### 北九州の物流インフラの歴史的発展経緯

江戸時代の小倉は、常盤橋が唐津街道、長崎街道、秋月(香春)街道、中



津街道、門司往還などの陸路の基点であると共に海路の 基点として重要な役割を果たしました。産業力強化を目指 す明治政府が、1889年、門司港を横浜や神戸と並ぶ特別 輸出港に指定するとともに、1891年には、門司から遠賀に 鉄道を敷設したことが、この地域の人口増加につながりま した。1901年に官営八幡製鉄所ができたころから道路も順 次整備されるようになりました。戦時中の1942年、関門鉄道 トンネルが開通したことは特筆される出来事でした。

戦後復興期には、政府が優先的に北九州地域の道路整備を進め、1958年 には関門国道トンネルと、当時の地方では珍しい高速道路として北九州道路 の一部が開通しました。1971年、九州・中四国地方では初めての田野浦コンテ ナターミナルが供用開始しました。コンテナは物流の効率化に大きな役割を果 たしていますが、一方で、ガントリークレーンのような大規模施設を必要としま す。政府は、横浜や神戸に次いで北九州にこのような投資をしたわけです。

以上のような、北九州の物流インフラの発展の経緯は、国が、物流の拠点と しての北九州市を如何に重要視してきたかを表しているものだと思います。

−方、空港に関しては、北九州が遅れを取ったことは否めません。旧北九州 空港は、滑走路の長さが十分でなくジェット機進入の難しさや霧が出やすいな ど課題を抱えていました。1974年、この課題解決に向けて関門浚渫土砂を利 用した海上空港構想が立ち上がり、国へ要望しましたが、なかなか認められま せんでした。しかし、関係者の粘り強い努力と共に漁業関係者や住民の協力 もあって、1994年に新北九州空港の着工、2006年開港に漕ぎつけることがで きました。

昨年度、北九州市は、「北九州市 物流拠点構想」を策定しました。そ の中では、北九州空港の重要性が 一層明確にされると共に、今後、施 設の更なる充実を図ること、物流を 本市の主要な産業としてさらに発展 させ、北九州だけでなく九州や西中国 にある産業の進展・振興を実現すること が示されております。

#### 再び、物流でふるさとを発展させたい!



#### 2. 北九州空港の概要

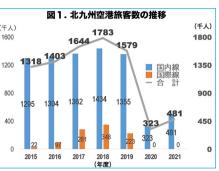
現在の北九州空港は、沿岸より3km沖合の位置にあり、九州・西中国地方の 交通網の中心に位置しています。北九州空港島は縦が1km、横が4kmの長方 形をしており、滑走路は2500mあります。九州·西中国で唯一の24時間稼働・ 大型貨物機対応可能空港であり、直立護岸を有し、大型貨物のシー・アンド・ エア輸送が可能です。大型機用エプロンが2ヶ所あり、国際貨物上屋は、保税 蔵置場としての許可を税関から得ています。更に、現貨物地区の西側に約 6.2haの拡張展開可能用地があることも強みです。

#### 北九州空港を取り巻く状況と課題

図1は北九州空港旅客数の推移です。2018年度にはもう少しで200万人の 大台に達するところでしたが、2020年度はコロナ禍により大幅に落ち込む結果 になりました。図2は北九州空港貨物取扱量の推移です。国際航空貨物がコ ロナ禍でも大幅に伸びています。

その理由として、コロナ禍における通信販売による需要の伸び、海上輸送の 混乱による航空輸送へのシフト、旅客機が飛ばなくなったことでベリー便(旅客 機を用いた貨物便)から貨物専用機による貨物便へ輸送方法がシフトしたこと などが挙げられます。

品目の多くは半導体や機械 関連です。輸入品には食料品 も多く含まれます。北九州市の 調査によれば、国際航空貨物 が増えている状況でも、いま だ、九州関係の発着航空貨物 量の約半分が関空、成田、羽 田空港を通じて輸出入されて いるので、これを北九州空港 から直接輸出入することが課 題の一つです。九州から成田 国際空港などにトラックで運ぶ だけで多大の時間と費用の損 失になるだけでなく、カーボン ニュートラルの観点からも問 題が多いので、今後、北九州 空港からの直接発着できる貨 物の量を増やしていきたいと 思います。また、地震や豪雨 などにより九州・西中国地域 の東側で陸路が寸断される場 合でも、国内の企業が事業を 継続できるようにBCPの観点 から物流ルートの代替として 北九州空港が注目されています。





ヤマトホールディングス(株)が、JALと共同で、北九州空港を、同社の九州の航 空輸送拠点として2024年度から国内定期貨物便を就航することを決めたこと は、最近の明るい話題の一つです。

#### 北九州空港の展望

熊本県のTSMC工場建設が注目を集めていますが、北九州空港は、九州・西 中国地方の半導体サプライヤーTSMC(熊本県)、三菱電機(福岡県)、マイクロ ン(広島県)の中間に位置しています。これら各サプライヤーの増産に対応でき るような取り組みも進めたいと思います。現在は、当空港と韓国仁川空港との間 のシャトル便で、仁川を経由して欧米等へつなぐルートがありますが、今後、成 田・羽田・関西空港や、台湾桃園空港を経由した欧米アジアへのルートや、欧米 へも直行できるルートなど、北九州空港を結節点とした半導体サプライチェーン の構築が期待されます。

国は、空港島の東側での新たな埋立てを進めており、将来、この部分が完成 すると中部国際空港と同じ面積となるので2本の滑走路も可能です。ハード面の 取り組みで今、地元の関係団体とともに国に要望しているのが、滑走路の 3000m化です。これが実現すると大型貨物機の航続可能距離が15,000kmまで 伸び、ほぼ世界中をカバーできるようになります。また、現在、弊社では、貨物 −ミナル施設整備として第1国際貨物上屋に隣接して第2国際貨物上屋の建 設を進めています。

ソフト面では貨物オペレーションの強化にも取り組んでいます。航空貨物の場 合、集荷/輸送を担う空港貨物地区外から倉置・荷捌きと通関業務を行う貨物上 屋、そして貨物の搭降載を行うエプロン側までの連携が重要です。島内に物流 業者やフォーワーダー業者が進出されていませんので、地元の企業等と連携し た代替策や誘致を検討しているところです。

地域の企業の生産・販売のプロセスの一部として信頼され、貢献できる空港づ くりを目指して頑張って参りますので、御指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し 上げます。 (ご清聴ありがとうございました。)

## 様の



#### 【取扱製品】

鉄道用分岐器、継目板、 トンネル用H形支保工、 九鉄式フックボルト、タイプレート、 鉄道車輛部品、レール溶接工事、 各種照明器具



感謝を忘れず気持ちを新たに

## 九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町2番30号 http://www.kyutetsu.com





プロフェッショナルを目指す若手エンジニアを応援しています!



## 有限会社 ICS SAKABE

〒802-0061 福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17 TEL: 093-932-7480 FAX: 093-932-7481

URL: http://www.icssakabe.com

## 2022年度事業計画

#### ■組織及び運営方針

◆組織:活動組織は、リーダ—の交代等で再編成し6支援グループ及びEA21 地域事務局の体制とするが、EA21地域事務局再編の効果をより高め、KTS内 の結束を強化し、日々激変する社会情勢に併せて事業内容をアップデ -プ再編を含めた活性化をこれまで以上に活発に進める。

◆運営方針: 本年度も、既存受託事業(ビジネスマッチング、産業人材育成フォーラム、EA21事業等)の新事態への適応力を関係機関と連携して確立す る。次に、企業が置かれている困難な状況に国・県・市の施策と連携して地域 企業への応援に力を入れ、産業の持続・維持を助け、新たな技術開発やマ-ケット開拓に立ち上がる企業の支援を進める。

KTS事業を支える人材の入会促進と急速に変化する 社会・経済環境に対応するための会員自身の学び直 し及び情報共有促進のため、遠隔会議システムを大い に活用した勉強会・研究会の充実と相互連絡会を開催 し会員の力を結集する場や、ホームページ・広報誌の 内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニー ズに対応した体制を整え積極的に推進する。

## ■実施計画

#### 1. 技術経営ものづくり支援 Gr.

- (1) 技術支援活動
- (2) 対外的な活動人材の育成とスキル情報の整備
- (3) 補助金等を活用した技術力向上への支援
- (4) 公的機関からの受託事業開拓

#### 2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

- (1) 北九州地域連携型インターンシップに関する事業
  - ① 研修型(短期)インターンシップ
  - ② 実践型(長期)インターンシップ
  - ③ 北九州高専長期インターンシップに関する事業
- (2) 北九州市風力発電人材育成連絡会に係る運営補助事業
- (3) サポイン事業評価業務
- (4)「SDGs勉強会」の開催

#### 3. 環境・省エネ支援 Gr.

- (1) 販売支援活動
- (2) 対外的なKTS人材の技術情報整備とPR
- (3) 補助金等を活用した技術力向上への支援
- (4) 公的機関からの受託事業開拓

#### 4. ISO EA21 支援 Gr.

- (1) 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
- (2) EA21認証取得事業者数の拡大
- (3) ISO認証維持·新規取得支援
- (4) グループ会員の相互研鑚(審査・コンサルティング技術の向上)
- (5)「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」の発刊

#### 5. IT活用支援 Gr.

- (1) NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立
- (2) 中小企業のIT活用支援
- (3)「第4次産業革命」勉強会の開催
- (4) テレワーク環境構築による業務効率化とCO2削減支援
- ①テレワーク環境整備に導入したITツールの展開
- ②MS365BizのPower AutomateとPythonプログラミングによる業務自動化

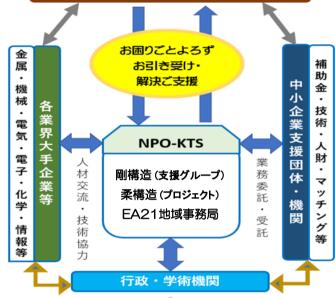
#### 6. 販路開拓ビジネス支援 Gr.

- (1) 課題解決EXPO2022のビジネスマッチング(BM)支援事業
- (2) 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

#### 7. 広報・デザイン支援 Gr.

- (1) KTS広報事業
- (2) 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援
- (3) KTS創立20周年記念事業支援

## 北部九州・山口地域等の中小企業



KTS実施事業にご興味のある法人・個人様は、093-873-1453 又は info@npo-kts.org までどうぞ!

## 様の広軸

## 安全第一 品質優先

プラントエンジニアリング 1959 年設立の経験値と、 新技術への挑戦で ューションします。

MAIL: project@shinohkura.co.jp



IIIA 自然災害防災システム SAA シスメルト数数

北九州から全国へ 気象とものづくりで 企業の安全を支える

◎気象の総合コンサルティング ◎気象海象予測·予測情報提供 ◎気象観測機器レンタル

気象庁予報業務許可第51号 シスメット紫紅

国土交通省 NETIS登録商品

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町2-8-11

TEL 093-965-1033 FAX 093-965-1055





独自の技術力で豊かな未来を創造しま

## 株式会社

【総合気象観測】

【白社開発:潮位観測システム】 【港湾施設点検(UAV 撮影)】







気象・海洋・河川調査解析/港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

北九州市戸畑区境川 2 丁目 4 番 5 号 TEL:093-883-1511 http://www.sokken.com





☆ 第一線をリタイヤされた皆様 ☆

あなたの経験や知識・技術、人脈を生かしませんか!

☆ 北部九州、山口地域の企業様 ☆

経営・技術等の御社課題を協働で解決しませんか!

NPO法人

北九州テクノサポート

093-873-1453 e-mail Info@npo-kts.org

#### エコアクション21地域事務局環境未来 2022年度事業計画

の前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施する。

2. 自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム開催....... 認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催する。

4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催 .......

6. 永年継続認証・登録事業者に感謝状授与 ......

7.北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申 ......

事業者を北九州市長感謝状授与候補として選者の上、市へ上申する。

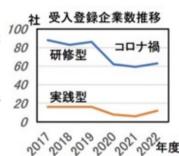
## 2022年度事業活動開始状況 (Hot News!!)

## ☆2022年度地域連携型インターンシップ(ISP)登録企業開拓活動

#### - 北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働 -

北九州地域産業人材育成フォー ラムの地域連携型ISPは、地域の理 工系大学や高専の学生の地元企業 就職率向上に大きな役割を果たして いる。

KTSは、3月下旬から候補企業約 320社に対してコーディーネーター15 名で受入登録企業開拓を行ってい るが、図に示すように研修型(短期) と実践型(長期)ともにコロナ禍から の回復の兆しを見せている。



#### ☆展示会ビジネスマッチング(BM)支援活動

#### - (公財)北九州観光コンベンション協会主催フェアでの協働 -

この支援活動は、北九州大手企業OBで構成されるKTSの技術的知識と人 脈により地元企業様に出展企業の事前PRを行い、会期中のBMをきめ細かく サポートするもので、昨年度は商談金額5千万円を超える成果を得ました。

2022年度の展示会は、課題解決EXPO2022として従来の西日本製造技術イ ノベーション展・中小企業テク ノフェアに西日本DX推進フェアを加え7月6日~ 7月8日の3日間、西日本総合展示場で同時開催される。特に、地方都市での DX推進フェア開催は、北九州が初めてであることから、数多くの新技術が多数 展示されている。コーディネーター16名は、KTSが実施している第4次産業革命 勉強会を通じてDXに関する事前研修を受け、出展企業と地元企業様との的確 なBMを実施して成果に結びつけ、活気のある地域経済づくりに貢献します。

## ノフラ型(超硬合金製)



次世代移動通信技術 『5G』に使用されるレ ンズを製造するには弊 社の『超精密加工技術』 が必要です。1/1000mm以下

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1 株式会社ワークス TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728



株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号 TEL093-691-3731 FAX 093-691-3735

マツシマメジャテック



ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で"価値"を与える会社



## 東洋ステンレス研磨工業株式会社

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1 TEL:092-928-3733(代) FAX:092-928-5430(代) e-mail: info@toyo-kenma.co.jp HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

高精度

POINT

安全・迅速



POINT

POINT



ドローンによる目視検査(空撮)

30 倍ズームカメラ 及び赤外線サーモカメラ搭載

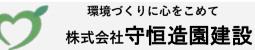






計測検査株式会社 北九州市八幡西区陣原 1-8-3

TEL: 093-642-8231





(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号

TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL http://www.morizou.info/

## ベストプランを ご提案します!

コンベアカバー



## 福岡県知事許可(般-21) 第99106

http://www.sanei-kikou.com/ 選別機械 / コンテナ製作 搬送設備 / リサイクル設備

設計・施工・修理・メンテ

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

## 北九州テクノサポート会員企業の事業所 めぐり

#### お問い合わせは TEL 093-873-1453

e-メール info@npo-kts.org

### シスメット株式会社

関静な住宅地域に立地する白亜の本社・事業場を訪問し、皆様のさわやかな応対を頂き、万全なコロナ対策の中で、片岸取締役営業部長並びに春本係長にお話を伺いました。(林理事)

#### ■会社の沿革と業況

当社は、1977年に創業した(株)海洋気象情報の事業を受け継ぎ、40年以上にかたり気象予測・観測サービスの提供を行ってきました。



白島国家石油備蓄基地(北九州市若松沖)での通船管理システム構築や、国土交通省港湾局「強風によるコンテナクレーン逸走防止のためのモデル運用規程」の策定に向けた検証データの提供など、行政主導のプロジェクトにも参画する中で長年蓄積してきた「気象」と「ものづくり」のノウハウを駆使し、全国でも希少な「気象の総合コンサルタント」として全国に事業を展開しています。

#### ■今後の展開と課題

近年、異常気象による自然災害が多くの メディアで取り上げられ注目されている一方 で、適切な気象観測・予測システムはいまだ 広く浸透しているとは言えない状況です。

無料の気象情報は観測地点が少なく、最も近い地点の観測情報を参考にしても地域によっては正確ではない場合があります。また、局所的な気象観測・予測システムは観



測機器の購入・維持管理等、コストがかさむことから導入・運用のハードルが 高いのが現状です。



そのような状況を打開すべく、当社はお客様の作業現場に観測機器をレンタルで設置し、局所的でありながら低コストで運用できる気象観測・予報・報知サービスを提供しています。現在、全国各地で港湾事業者・建設業・土木工事業を中心に当社システムをご利用頂いていますが、現状に満足

することなく新商品の開発や既存システムの改良・改善を行い、より多くの業種で企業様が防災計画・事業計画を一層推進できるよう努めてまいります。

#### ■KTSへの期待

産学官連携の促進、公的機関の橋渡し等、様々な面でご支援いただいております。引き続き、よろしくお願いします。

#### ◇会社概要

■所在地: 北九州市小倉南区徳力新町2-8-11 TEL:093-965-1055

■代表者: 代表取締役 福田 敏

■設立:1996年7月

■資本金: 3,200万円

■従業員数:19名

退

任役員紹

■事業:気象の総合コンサルティング、気象海象予測・調査解析 気象システム開発・運用・保守、気象海象予測・観測システムの

レンタル

URL: https://www.sysmet.jp/

#### 株式会社 測研

R4年4月に賛助会員としてご入会された同社の課題支援及び広報誌取材(リアル及びオンライン)に伺い、古賀代表取締役専務並びにメ野様等にお話を伺いました。(吉田理事・林理事)

#### ■会社の沿革と業況

当社は、昭和45年、潮位、波高、風向風速等、気象に関する機器類の販



売及びデータ整理を主体とした業務を主軸に事業を開始 しました。当時はコンピューター黎明期でありその将来性 に着目しいち早くコンピューターを導入しました。当初は アナログの記録紙からデータを読み取る機械の開発から 始まり、これを機にデジタル活用を他社に先駆けて取組 み、ソフトウェア開発事業に発展させました。会社は少数 精鋭で、日夜、その技術力を高めて来ました。気象を整 理するという原点に立ち、時代の変化の中でも、変わらず 事業基盤となっています。その対象は海や河川、陸地の

開発の結果、人々の生活に気象がどのように関ってきたかについて観測し、 関連する社会インフラや生活への影響な

関連する社会インフラや生活への影響などを明らかにすることに関わっています。

現在の主な事業は気象・海洋・河川の観測に関わる機器の販売を始め、計測ソフトウェアの自社開発、調査解析受託及び港湾・漁港・海岸構造物の劣化状況を評価するアセットマネジメントや観測機器のメンテナンスまで一貫して行っています。

社会インフラとしての設備が高度成長期に整備され時代と共に劣化が進み、その



維持管理が大切な時代となっており、当社はその基盤となる施設の状況を調査分析し、適切な補修を進めるための調査事業を受託してアセットマネジメントに寄与していますが、これらの観測に必要な計測器の販売から修理まで手掛けて業界を下支えする事業を展開しています。

#### ■今後の展開と課題

業界に先駆けてコンピューターの活用を進めており、最近のソフト・ハードの技術進化を取込み、紙や帳票で作成していたものを最新の情報技術を採り入れた業界向けのICT技術活用を進めて参ります。



#### ■KTSへの期待

豊富なキャリア人材を抱えておられる貴法人に様々なご支援いただきたいと思います。また、多様なネットワークを活用した当社の紹介や技術面でのサポートをいただけると有難いです。

#### ◇会社概要

■所在地: 北九州市戸畑区境川2丁目4番5号 TEL:093-883-1511

■代表者:代表取締役 古賀 明

■設立:1970年2月

■資本金: 5,000万円

■従業員数:14名

■事 業: 気象・海洋・河川観測機器等の販売、レンタル、メンテナンス 及び調査解析 / 計測機器を用いたシステム開発 /測量機器 修理 (JSIMA) / 港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

MA)/ 港湾・温港・海岸のアセツト URL:http://www.sokken.com

#### 会員動静(2022年7月10日現在)

 正会員
 賛助会員
 協賛会員

 70名
 法人:13、個人:0
 6

お疲れさまでした。

◆退任理事:2名

荒巻 忠史、藤原 利久

◆退任監事:2名

石川 浩、重藤 將美

(注)当年度役員はp1参照



#### でしま くにひこ 手島 邦彦

TOTO(株)を管理職定年後、山丸(株)に勤務しました。 TOTO時代は国際関係の勤務が長く、拠点設立並びに海外 出向者の支援・国際調達業務を行っていました。現在、EA21 事務局に所属していますが、今後、EA21審査員並びに皆さ んと協力してEA21導入企業を増やして行きたいと考えます。

会長退任のご挨拶 (吉田 剛 理事) この度、5年にわたり会長の任を仰せつかり活動させていただきましたが、諸問題も一区切りついたことと、マンネリ化を打破するためには新しい体制を作っていくことが大事と思い退任を決意させていただきました。退任しましても組織を支えるために、これまで以上に組織の活性化のために汗を流すつもりでおりますので、今後とも宜しくお願い致します。

これからは影山新会長を中心にKTS一体となった新事業開発を進めて行く所存でありますので、今後とも宜しくお願い致します。 これまで支えていただいた会員の皆様、関係諸団体の皆様に深く感謝致しております。(令和4年7月1日)

#### 検索 北九州テクノサポート

http://www.npo-kts.org/ 正会員・賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート 広報誌 「北九州テクノサポート通信Vol.39」 2022年7月10日 発行

編集・発行:NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.) 北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル 806号 TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:info@npo-kts.org